計画の			自然と調	和した潤	いのある環境都市														
計画の			平成27年	度 ~	平成29年度 (3年間)			交付対象		大館市								
計画の																			
-	下水道整	備を行い	、安全・	安心、快	適な暮らしを実現し	、良好	な環境を創造する。	0											
計画の	の成果目	標(定量	と的指標)																
	①大館市	の下水道	5処理人口	普及率を	49.8%(H27当初)カ	à655.	4%(H29末)に増	加させる	ō										
定量的	的指標の	定義及び	り 算定式									定量的	り指標の現	況値及び	目標値			備考	
					•							当初現況値	中間	目標値	最終目	目標値		1佣-与	
												(H27当初)	(H2	8末)	(H29)末)			
①下水道処理人口普及率																			
下水道を利用できる人口(人) / 総人口(人) × 100											49.8 %	53.	1 %	55.	4 %				
全体事業費		合		1,798百万円	1,798百万円 A 1,798百万円 B			0百万円	С	0百万円	効果促進事業費の割合		合				0.0%		
工件爭未負			(A+I	3+C)	1,100 🖂 /3 3	11	1, 100 H 31 1			Ü	ФП/3/13	C/(A+B+C)					0.070		
									事 後 評	価									
○事後評値	而の実施	体制. ま	施時期						J. (A H1	llerd									
事後評価の	の実施体	制	4/94							事後評価	の実施時期		T						
					•						事業終了後(令和	元年7月)	_						
5	大館市下	水道事業	(担当課に	より事業	実施状況・指標の達	成状況	の確認および評価	を実施。		公表の力									
											大館市のホームペ	ージにて掲載する	- 5.						
1	以各古光	の光や山	NOTE:																
1. 交付交 交付対象	付家事業 **	の進捗が	7亿																
A 1 基幹事業 番号 ■ 事業 ■ 地域		交付	直接	更			レかる車	[事業内容			車業:	甘椒 期間 (午 庄)		全体事業費	備考	
·Bi /3	番号 季未 地域 種別 種別			文刊 直接 事業者 対象 間接			要素となる事業名 (事業箇所)			(延長・面積等)		市町村名	H27	H28	事業実施期間(年度) H28 H29 H30		H31		C. HII
大館処理	1	,	八多	1月1女			`	子水凹刀	17	()	(八) 四位(1)		1121	1120	1123	1100	1101	+	
								汚水管φ200	~150, L=7.1km, A=52ha	t Ad. I.						594			
1-A1- 1	A1-1 下水道 過疎 大館市 直接		18処理分区(大田面・代野地区ほか) (公共)			汚水管 φ 200	~150, L=6.6km, A=27ha	大館市						590					
	1 > 4		1 44-4-	+ + +						汚水管 φ 400	∼150, L=9.4km, A=64ha	1 44-4						669	
1-A1- 2	1-A1- 2 下水道 過疎 大館市 直接 — —		_		21処理分区(板子石地区ほか) (公共)			汚水管 φ 400	~150, L=5.4km, A=46ha	大館市						640			
1-A1- 3 下水道 過過		`且 7击	過疎 大館市	直接	_	O #11 #1	o知: 四八豆 (各、自	処理分区(象ヶ鼻・狐台地図		汚水管 φ 200	∼150, L=9.4km, A=69ha	大館市						432	
1-A1- 3	下小坦	迴咪	人貼巾	旦按	_		9処理分区(家ヶ鼻	• 狐 四	区はか) (公共)	汚水管 φ 200	∼150, L=4.2km, A=14ha	人貼巾						467	
1-A1- 4	下水道	過疎	大館市	直接	_		10処理分区(萩の台	4. 洲内#	h区はか) (小井)	汚水管φ300	∼150, L=3.6km, A=23ha	大館市						31	
Ι ΛΙ 4	一小坦	週晰	ハンベローリン	旦政			10处理方区(秋0)	コ - 4回L1対	E区はか) (公共)	測量・設	告 L=5.8km	印音						38	
1-A1- 5	下水道	過疎	大館市	直接	_		施設計画の見直し			効率的重	工業計画策定	大館市						18	
I MI O	1 /11/20	過季	/(MH1)	巨区			施队打員ジル直じ	,			214001 77107 =	7(11)						11	
1-A1- 6	下水道	過疎	大館市	直接	_		1処理分区(川口均	地区) (!	持環)		~150, L=16.1km, A=99ha	大館市						54	
	1 /11/2	×3-> -) (AH III	L 15			70.237 0 0 1111		17 >10)	計画策定、	測量・設計 L=3.7km) CAH III						52	
															合計			1, 798	
_ =====================================		+1. 144													н г г			1, 798	
B 関連社	社会資本				Г						中华中位		1	ء عللد حلب	b+6+0000/	左座/			/++: - v
番号	事業	地域	交付	直接	事業者		要素	となる事	業名	/7-1	事業内容	市町村名	1107		実施期間(1101	全体事業費 (百万円)	備考
	種別	種別	対象	間接						(処	長・面積等)		H27	H28	H29	H30	H31	(H77117	
															合計			Щ.	
番号 -	番号 一体的に実施することにより期待される効果																		

番号 事業 地域 交	で付 直接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名		全体事業費	備考				
番号 種別 種別 対	力象 間接	争耒有				H27	H28	H29	H30	H31	(百万円)	
								合計				
番号 一体的に実施すること	により期待され	る効果										備者
111111111111111111111111111111111111111	2, 3, 3, 7,7,1,7 €.1,-	37,747 -										
事業効果の発現状況、目標	票値の達成状況											1
		・大館市の快適な	暮らしを実現し、良好な環境の創造に寄	与するため、計画的かつ効率	3的に下水道を整備す	ることで、	下水道处	0.理人口 🕆	いい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いんしゅう ひんしゅう ひんしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	3.9%埠	曽加した。	
	4 TO 11 YO	・大館市の快適な	暮らしを実現し、良好な環境の創造に寄	与するため、計画的かつ効率	5的に下水道を整備す	ることで、	下水道处	D.理人口 e	普及率が:	3.9%增	曽加した。	
至量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発	ě現状況	・大館市の快適な	暮らしを実現し、良好な環境の創造に寄	与するため、計画的かつ 効率	的に下水道を整備す	ることで、	下水道如	D.理人口 智	普及率が 3	3.9%堆	曽加した。	
	 卷現状況	・大館市の快適な	暮らしを実現し、良好な環境の創造に寄	与するため、計画的かつ効率	8的に下水道を整備す	ることで、	下水道如	心理人口 智	普及率が:	3.9%堆	曽加した。	
	č 現状況	・大館市の快適な	暮らしを実現し、良好な環境の創造に寄	与するため、計画的かつ効率	8的に下水道を整備す	ることで、	下水道処	心理人口 曾	普及率がご	3.9%埠	曽加した。	
交付対象事業の効果の発	_	最終目標値	55. 4									
交付対象事業の効果の発	指標(下水	最終目標値	55. 4 目標値と実績	値 供用開始区域内の人1	コ減少に加えて、平成	28年度整備	帯地区の-	一部(松々	木)は在学	宅点在地		
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発 で量的指標の達成状況	_	最終目標値 - 道処 - 率)	55.4 目標値と実績 に差が出た要	値 供用開始区域内の人1	コ減少に加えて、平成	28年度整備	帯地区の-	一部(松々	木)は在学	宅点在地		
交付対象事業の効果の発	指標(下水	最終目標値	55. 4 目標値と実績	値 供用開始区域内の人1	コ減少に加えて、平成	28年度整備	帯地区の-	一部(松々	木)は在学	宅点在地		

3. 特記事項 (今後の方針等)

- ・本計画では定量的指標である下水道処理人口普及率の目標値(平成29年度末 55.4%)を達成することができなかった。 ・今後は、アクションプランに基づき低コスト技術の採用やPPP/PFI手法の導入により効率的に汚水整備を行うことによって、下水道処理人口普及率の増加を図り、大館市の住みよい住環境及び水質保全の実現に寄与していく。